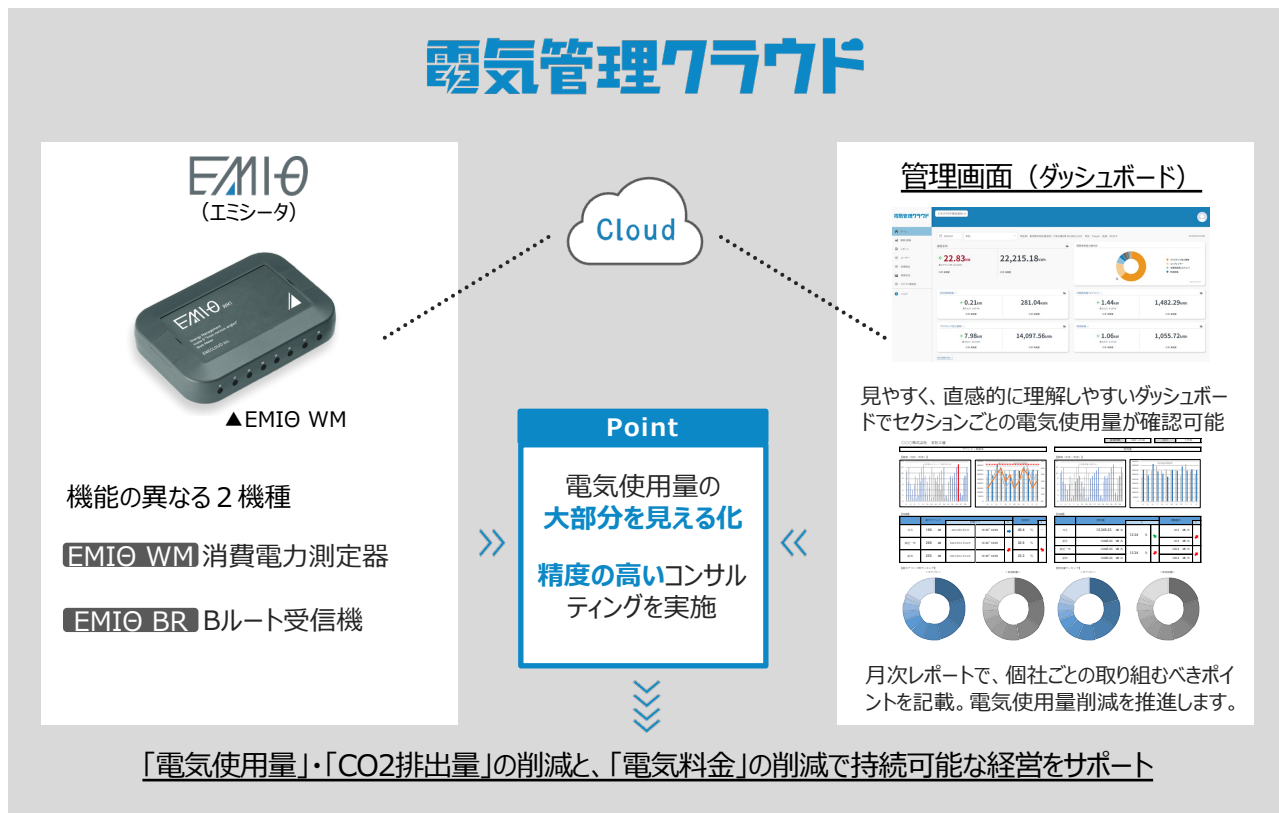


## 電気使用量の見える化とコンサルティングで 使用量とコストの削減を実現するサービス「電気管理クラウド」 電気使用量計測のための独自のIoTセンサー 「EMIO(エミシータ)」投入で企業の持続可能な経営をサポート

世界的な燃料・原材料価格の高騰が続く中、日本国内の電気料金についてもウクライナ情勢や円安による燃料価格の高騰、発電所の老朽化問題などの影響で、高騰が続いています。そのような外部環境の中、企業においても省エネに対する取り組みは必要不可欠となってきています。

このような背景から、エネクラウド株式会社が提供する、電気使用量の把握と使用量削減コンサルティングを行うサービス「電気管理クラウド」では、より精度の高い電気使用量の計測・見える化と、コンサルティングによる電気使用量の一層の削減を目指すため、**独自のIoTセンサー「EMIO(エミシータ)」を開発**。精度と機能を大幅に向上させた**2種類のIoTセンサーと、刷新した管理画面（ダッシュボード）を2023年7月24日にローンチ**いたします。



エネクラウドは、「すべての企業の競争力を高め豊かな社会を実現する」をミッションに、法人の高圧・特別高圧の電気料金的大幅削減を実現するため、電気料金契約や電気の使用方の見直しをサポート。お客様の電気に関する課題を解決しています。同社が提供するサービス「電気管理クラウド」では、エネクラウドが独自開発したIoTセンサー「EMIO(エミシータ)」を用いて電気の使用量を可視化し、コンサルタントが電気使用量の削減プランをご提案します。工場の操業を止めることなく取付工事が出来るため、業務への影響もなく導入が可能です。

### <本資料に関するお問い合わせ先>

エネクラウド P R 事務局 担当：新貝・田中

TEL：080-4023-9220（田中）／080-1766-0817（新貝） E-mail：[enecloud@prcloudtech.co.jp](mailto:enecloud@prcloudtech.co.jp)

## バージョンアップした、新しい2種類のEMIO(エミシータ)の役割と特徴

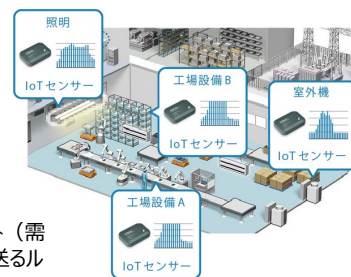
電流、電圧の計測ができるため、精緻な電気使用量の算出が可能なEMIO(エミシータ)は、電気使用量の見える化を「全体」「セクション」の2つに分けて実施。それぞれに特徴があり、異なる役割を果たします。

### EMIO BR (エミシータ ビーアール / サイズ: W150×D100×H30mm)

対象の施設全体の電気使用量を計測するIoTセンサーです。

スマートメーターにEthernetケーブルで接続し、Bルート(※)で情報を取得します。

※ スマートメーターが計量したデータの送信ルートは「Aルート（電力会社（送配電事業者へ送るルート））」、「Bルート（需要家へ送るルート）」、「Cルート（電力会社（送配電事業者）経由で小売事業者や民間事業者（第三者）へ送るルート）」の3つがあり、「EMIO BR」はスマートメーターからBルート経由でリアルタイムに計量したデータを取得しています。



### EMIO WM (エミシータ ダブルユーエム / サイズ: W175×D175×H50mm)

セクションごとの電気使用量を計測するIoTセンサーです。

例えば工場における「ラインごと」「大型機器ごと」「部屋ごと」「照明」「空調」などのセクションごとに計測が可能です。

当機は、1台あたりの電気使用量測定可能箇所が、当社従来製品の4箇所から最大36箇所に増加。多チャンネル化により、多台数の導入が不要になり、導入コストを1/5以下へ削減しました。

また狭い空間でも場所を取らない省スペース設計で、当社従来使用製品比で66.2%の小型化に成功。従来製品サイズは「W160×D236×H120mm」となっており、分電盤に収まらないケースがありましたが、それを解消しました。

## 電気管理クラウドについて

### 電気管理クラウドとは・・・

エネクラウド独自のIoTセンサー「EMIO(エミシータ)」を通じて、電気使用量を可視化。そのデータをもとにコンサルティングを行い、電気の使用量削減(省エネ化)とコストカットを実現するサービスです。

### STEP 1 電気管理クラウド独自のIoTセンサー「EMIO (エミシータ)」で電気使用量の見える化

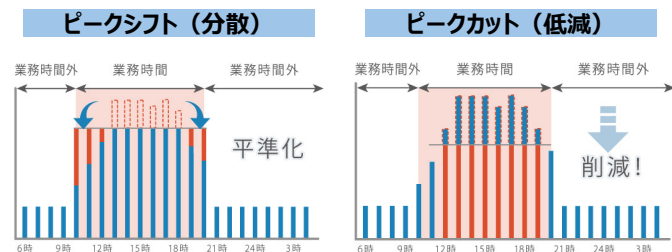
オフィスや工場など各施設のセクション単位で、IoTセンサーをブレーカーに設置、どの場所でもどのくらい電気を使っているかリアルタイムで計測し、電気の使用状況を詳細に「見える化」します。

### STEP 2 コンサルティングによる電気使用量の削減

専門コンサルタントが、電気使用量を分析し、改善提案を行います。集中的に電気が使われている場所と時間を中心に、削減のためのコンサルティングおよび取り組みを実施。最短で、翌月から効果を実感できます。

### STEP 3 デマンド監視による電気使用量の平準化

コンサルティングで平準化した最大デマンド値を維持できるよう、目標値となる閾値を設定。設定値に近くなると通知され使用を抑制したり、生産に影響が出ない空調の電源を自動で切るなど、電気使用量のピークを分散もしくは低減に、長期的に取り組んでいくことが可能です。



#### <デマンド値と電気基本料金との関係について>

30分間に消費された電力の平均値をデマンド値といいます。基本料金を構成する契約電力は、当月を含む直近1年間の最も高いデマンド値の「最大デマンド値」が適用されます。よって、電力消費が少ない時期も、高い基本料金を払う必要があり、無駄が発生します。電気管理クラウドでは「デマンド監視機能」を搭載。コンサルティングで平準化した最大デマンド値を維持できるよう、目標値である閾値を設定します。

### STEP 4 月次コンサルティングレポートで改善を継続

電気使用量を分かりやすく表示し、専門のコンサルタントが監修。毎月提示するレポートには、使用量だけでなく、目標や取り組みに対する進捗、どのくらいCO2や電気料金を削減できたかなどを分かりやすく記載。

レポートの内容に沿った適切なタイミングでアクションを行えば、各種削減効果が出るように設計されています。

ホーム

施設管理

レポート

ユーザー

目標設定

使用状況

カテゴリ別設定

ヘルプ

エネクラド株式会社

2023/03

本社

所在地: 東京都渋谷区恵安町一丁目19番2号 SPINEビル6F 天気: Clouds 気温: 25.85℃

2023年03月03日現在

施設全体

← 22.83kW

最大電力: 110.66kW

日昨: 未設定

22,215.18kWh

日昨: 未設定

計算使用電力量内訳

● プラスチック加工機械

● コンプレッサー

● 冷凍機設備 (エアコン)

● 照明設備

空調設備

← 0.21kW

最大電力: 0.83 kW

日昨: 未設定

281.04kWh

日昨: 未設定

冷凍機設備 (エアコン)

← 1.44kW

最大電力: 4.18 kW

日昨: 未設定

1,482.29kWh

日昨: 未設定

プラスチック加工機械

← 7.98kW

最大電力: 30.54 kW

日昨: 未設定

14,097.56kWh

日昨: 未設定

冷凍設備

← 1.06kW

最大電力: 3.37 kW

日昨: 未設定

1,055.72kWh

日昨: 未設定

他の設備を見る

〇〇株式会社 本社工場

稼働時間 8:00~17:00 休日 土日祝

### 【実績】 デマンド・負荷率

【推移（月次・年次）】

左：最大デマンド（前年対比）  
右：使用量年間推移

【実績】

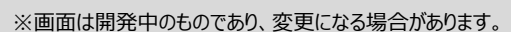
|      | 最大デマンド | 計画コマ        |             | % | 負荷率    | % |
|------|--------|-------------|-------------|---|--------|---|
| 当月   | 180 kW | 2023年5月5日   | 13:30~14:00 | ➡ | 40.4 % | — |
| 直近一年 | 260 kW | 2022年12月10日 | 13:30~14:00 | ↗ | 30.6 % | ↘ |
| 前年   | 255 kW | 2021年12月12日 | 13:30~14:00 | ↗ | 33.3 % | ↗ |

【最大デマンド時ランキング】 <カテゴリー>

<負荷設備>

【使用量ファンキング】 <カテゴリー>

<負荷設備>

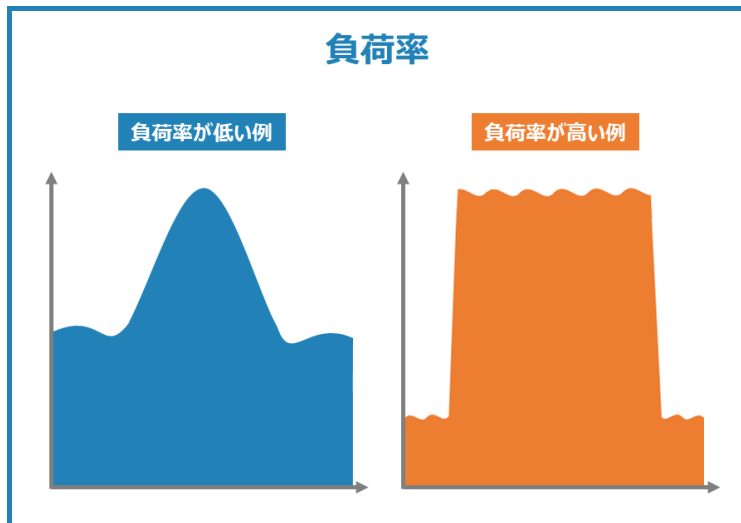


TEL : 080-4023-9220 (田中) / 080-1766-0817 (新貝) E-mail : [enecloud@prcloudtech.co.jp](mailto:enecloud@prcloudtech.co.jp)

## コンサルティングレポート記載項目「各設備の負荷率」の活用で、「電気料金単価の削減」に取り組む

自社の電気の使い方を知る指標に「負荷率」があります。負荷率は、実際にどれだけの電力を使用したかを示す割合で、同じ電力量を消費していても、負荷率が高い方が、契約電力を下げられます。

これは電力会社が、急激に電気使用量が増えると電力を賄えなくなる可能性があるため、電力の使用量が安定している施設を優遇しているためで、負荷率が高い（電気の使用が安定している）ほど、電気代が安くなる仕組みとなっています。そこで電気管理クラウドは、レポートで個別の機器・設備ごとの稼働「負荷率」を記載。機器・設備ごとの使用効率を高めるためのアドバイスをします。指標をもとに、「ピークカット」や「ピークシフト」を行い、全体の「負荷率」を高めることで、消費電力の削減だけでなく、契約電力の削減にも貢献します。



負荷率が高い方が、電力使用量に波がなく、安定しているため、電気代が安くなります。

## 電気使用量削減による、CO2削減量の見える化について

電気管理クラウドを活用することで削減できた電気使用量が、どの程度のCO2排出量削減につながっているかもレポートで可視化しています。このCO2排出量は、電力会社の排出係数をもとに算出しています。この機能により、どれだけ自社が温室効果ガス排出削減に貢献できているかを実感できます。

## エネクラウド株式会社が提供する2つのサービスと、電気料金の仕組みについて

電気料金は「基本料金」「電力量料金」「燃料費調整額」「再エネ賦課金」で構成されています。

このうち「基本料金」と「電力量料金」は、電気の使い方次第で大幅に下げることが可能です。

### 高圧・特別高圧の電気料金

「基本料金」も  
「電力量料金」も

単価は  
**電気削減クラウド**  
で削減

量は  
**電気管理クラウド**  
で削減

#### 基本料金

基本料金単価

×

契約電力量

請求時 力率割引・割増しが適用

#### 電力量料金

電力量料金単価

×

使用電力量

燃料費調整額

再エネ賦課金

再エネ賦課金単価と  
使用電力量で算出

**大幅削減を目指す料金**

電気削減クラウドについては、以下のURLから詳細をご確認いただけます。

<https://service.enecloud.co.jp/sakugen>

### <本資料に関するお問い合わせ先>

エネクラウドPR事務局 担当：田中・新貝

TEL：080-4023-9220（田中）／080-1766-0817（新貝） E-mail：[enecloud@prcloudtech.co.jp](mailto:enecloud@prcloudtech.co.jp)

エネクラウドは、法人の電気料金の最適解を導き出す「クラウドシリーズ」を展開しています。専門知識をもったコンサルタントと独自のシステムにより、省エネ・コスト削減の課題を解決へと導きます。様々な地域・業種・業態と、あらゆる事業規模に対応でき、電気値下げ成功率89.4%（2023年1月31日時点）という確かな実績を誇っています。

社名：エネクラウド株式会社

設立：2012年5月

代表者：代表取締役社長 田嶋 義輝

本社：東京都渋谷区道玄坂一丁目19番2号SPLINEビル6F

公式HP：<https://enecloud.co.jp/top>

## 【事業内容】

電気削減クラウド：お客様と電力会社間の契約を総合的に支援し最適価格で締結するサービス

電気管理クラウド：電力使用量の見える化を図ることで電気料金のコストカットと省エネ化を実現するサービス

## SDGsへの取り組み

エネクラウドが提供する「電気削減クラウド」と「電気管理クラウド」をあわせて活用することで、コストカットだけでなく、CO2の削減を実現し、持続可能な社会に貢献することができます。

### 01 環境にやさしい手順で持続可能なエネルギーを すべての人が享受できる世界

エネルギー事業の一翼を担う企業の社会的責任としてCSRに取り組みます。事業を通じてエネルギーの大切さを伝え「環境にやさしい手順で持続可能なエネルギーをすべての人が享受できる世界」をサポートします。

### 02 すべての社員が働きやすい環境づくりを目指す

女性の雇用機会の創出、ビジネスにおける貢献を推し進めており、今後のジェンダー平等のロールモデルとなり、さらなる促進をしてまいります。また、社会保障を充実させ、安全で健康的に働ける職場環境にします。



## イニシアティブへの参画認定

エネクラウドは、安心・安全でサステナブルな未来づくりに貢献していくため、国連グローバル・コンパクトをはじめ、様々なイニシアティブへ参加をしています。



＜本資料に関するお問い合わせ先＞

エネクラウドPR事務局 担当：田中・新貝

TEL：080-4023-9220（田中）／080-1766-0817（新貝） E-mail：[enecloud@prcloudtech.co.jp](mailto:enecloud@prcloudtech.co.jp)